

学校の教育目標「自らとりくみ 輝く佐見の子」



校報

さ み

キラリ

佐見小学校ホームページ <http://samisyo.town.shirakawa.gifu.jp>

白川町立佐見小学校
校長 佐伯 好洋
平成29年度 校報
5月号 (No.2)

4月22日の授業参観・PTA総会には、多数の保護者の皆様にご出席をいただき、ありがとうございました。初めての授業参観を迎えた1年生は、音楽の授業で動きや表現を楽しみながら活動していました。これからいよいよ様々なPTA活動がスタートします。役員をはじめ、PTA会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

読書があなたを強くする

校長 佐伯 好洋

「読書があなたを強くする」これは、佐見小学校の図書室に飾られている言葉の1つです。この言葉の意味について考えてみました。

私は、自信というものは体験の中からこそ生まれるものだと考えています。新たなことに挑戦し、体験して初めて「私は、このことはここまでできる」と実感し、次も自信を持って取り組むことができるからです。その意味では、読書は実体験とは言えません。しかし、たくさんの本を読み、そこからたくさんの知識を得たり、他者の体験から生き方を学んだり、または物語の主人公を通して疑似体験したりすることが、その後に直面する場面での判断や行動をより豊かにしてくれるのではないかと思います。これが、「読書が子どもたちを強くする」ことであると理解しています。

佐見小学校では、今年度から、図書室の本を「ごはん本」と「デザート本」の2種類に分け、2冊借りることができる本のうち必ず1冊はごはん本を借りること、また朝読書では必ずごはん本を読むことにしました。文字を読み、たくさんの言葉との出会いの中で、言葉や漢字を覚えるだけでなく、情景を想像したり、登場人物の気持ちを考えたり、そこから自分の考えや生き方について考える経験を多くさせていきたいと願ってのことです。

また、27年度から毎週木曜日の朝に、高学年が下学年に対して読み聞かせをする活動に取り組んでいます。高学年の子どもたちも、いろいろと考えて本を選び、練習して教室に行きます。低・中学年の子どもたちにとって楽しみの1つになっている活動ですが、高学年の子どもたちの鍛えの場にもなっています。

読書を通じて、「挑み、鍛える」佐見の子の姿を生み出していきたいと思っています。

「ごはん本」：頭や心の栄養になる本

- ・伝記、小説、随想、昔話など
- ・活字を読んで読み取るもの
- 低学年は絵本もOK

「デザート本」：楽しんで読む本

- ・迷路、秘密シリーズ、歴史マンガ、図鑑など、興味・関心を高めるもの

